

## 平成 30 年度 全国健康保険協会岩手支部第 2 回評議会 議事概要

【開催日時】 平成 30 年 9 月 12 日（水）14：00～16：00

【開催場所】 朝日生命盛岡中央通ビル 2 階 B 会議室

【出席者】 浅沼隆 大槻忍 小野寺聡子 川井博之 熊谷敏裕 齋藤俊明  
三田地宣子（五十音順、敬省略）

### 【議題】

1. より効果的な健康診断の実施に向けて
2. 効果的なポピュレーションアプローチの取り組みに向けて
3. 健診当日の特定保健指導の推進

### 【議事の経過】

支部長挨拶後、各議題について協会より説明を行い、その後出席者からの質疑等の発言を求めました。発言の内容は以下のとおりとなります。また、今回は各社会保険委員会の代表者にも参加いただき、ご意見を頂きました。

## 第 2 回評議会

### (1) より効果的な健康診断の実施に向けて

#### 【被保険者代表】

生活習慣病予防健診については山形支部の実施率が高いようであるが、その要因は把握できているか。

#### <事務局>

以前山形支部で保健グループ長として在籍していたが、山形では大規模の健診機関が県内の要所々に存在し、事業所への受診勧奨等を積極的に行っていた。また、協会からの提案も積極的に受け入れられ、連携も取れていた。加えて、加入者側の意識として、健診は受けて当然といった意識も醸成されていたように思う。

#### 【被保険者代表】

市町村別の実施機関の受入れ体制を見ると盛岡市に集中しており、郡部や沿岸部が少ないため、当該地域でどう対処するかが重要である。なお、当社では全員が生活習慣病予防健診を受診しているが、そのような環境にいと、なぜ健診を受けないのか疑問に思える。

<事務局>

事業所における健診の受診環境は中小企業を中心に、健診後は即出社しなければならないなど、落ち着いて受診できる環境が整備されていない事業所が多い事も影響しているものと思われる。岩手は以前より健診受診率が低い地域であるが、その要因については前述のとおり健診機関による影響もあるが、県民性によるところも大きいと感じている。

インセンティブ制度による保険料率への影響もあるため、その対策に注力しているところではあるが、一朝一夕には結果は出ないのが実情である。

**【被保険者代表】**

某健診機関は非常に短時間で健診が受ける事ができ、非常に使い勝手が良い。病院等では融通が利かない点も多いと思われ、そのような健診機関が増えれば受診率の向上にも繋がるものと思われる。

**【被保険者代表】**

私の職場は県内各地域に点在しているが、全額事業所負担により好きな場所・時間で受診できる。沿岸の者は盛岡で受ける事が多いが、短時間で済むのなら健診に対する抵抗感も少なくなるのではないかと思う。また、学生に対する健診の教育も必要なのではないか。

**【被保険者代表】**

以前は健診機関への申し込みのみで手続きが完了していたと思うが、現在は健診機関への申し込み後に協会への申し込みが必要になり手間が増えた。この取扱いは全国的なものか。手続きが簡素化されれば健診の受診率向上に繋がるのではないか。

<事務局>

全国的に以前からこの取扱いとなっている。健診機関への申込みのみで手続きが完了するシステムを構築する案があったが、協会端末における外部との不審な通信の問題が生じたために頓挫した経緯がある。

**【被保険者代表】**

当社の生活習慣病予防健診の受診率はほぼ 100%を達成している。また、福利厚生として健診、二次健診、及び二次健診の結果を聞きに行くところまでは有給休暇として対応している。なお、当社の健診担当者より健診に対する意見等の聞き取りを行ったところ、今年度より事業者健診における検査項目が増えた事により経費が増えて苦慮しているとの事であった。また、某健診機関における職員の対応に対して不満を持

っている社員がいたため、健診機関に申し入れを行った結果、改善されつつあるとの話もあった。

#### 【学識経験者】

当社の生活習慣病予防健診の受診率はかつて 50%程度であったが、直近 3 年間は 100%の受診となっている。その取組としては、常勤の産業保健師が一人一人の日程を確認しながら調整をしている。また、健診担当部局が未受診者の属する部局の部長を呼び出し、受診にかかる指導を行っている。そのような未受診者及び管理職への二重の指導が功を奏した結果となっている。

また、バリウムが苦手という声、胃カメラへの切り替えを望む声が多くなっているが、協会としてどのように考えているか。

#### <事務局>

現状では胃カメラによる実施も可能ではあるが、バリウムより費用がかかるため、差額で費用が発生してしまう。なお、他県においては健診機関のサービスにより、追加料金無しで胃カメラによる実施が可能なところもある。

また、業種によってはバリウム使用後の業務への影響を懸念する声も多いため、本部に対してそのような要望が多いという点について申し伝えたい。

#### 【事業主代表】

私の職場ではなるべく早い時期に健診を済ませたいと考えているが、利用している健診機関においては早い時期はすぐに予約で埋まってしまい、なかなか希望する時期で実施する事ができない。また、35歳以上の者は生活習慣病予防健診を受診し、35歳未満の者は補助がないため定期健診を利用しているが、その点について若い世代は差別意識を持っている。35歳未満も補助対象としていただければ受診者は増えるのではないか。

また、過去に健診によって癌の早期発見につながった者がおり、職場での意識も高まっている。健診後、要精密検査となった者については、以前はなかなか受診に繋がらなかったが、現在は私が受診を指示する事等によって、全員が受診するようになった。

### (2) 効果的なポピュレーションアプローチの取り組みに向けて

意見、質問等なし。

### (3) 健診当日の特定保健指導の推進

質問・意見等なし。

#### 社会保険委員会代表者との意見交換会

参加者：高橋透（奥州地区社会保険委員長）※敬称略

##### 【社会保険委員会代表者】

健診については当社においても胃カメラの希望する者が多いと感じている。胃カメラについては持ち出しとなってしまふものの、希望者には受診をさせている。また、人間ドックについては補助を実施し、有給扱いとしている。

なお、健診は職場に検診車を配車していただいで実施しているが、当社はゴミ収集の事業を行っており、その担当は早く出発しなければならないため、職場内で順位づけを行い、計画的に受診できる体制を整えている。

また、職場内での健康づくりについては、パークゴルフやボーリング大会を行い、少しでもスポーツをする機会を確保できるように努めている。なお、職場外の各スポーツクラブに所属しているものも多く、それらの大会に参加する際などには優先的に休みを取らせるなどの配慮をしている。

また、特定保健指導については、当日実施は業務の都合上難しいところ。当社では夕方に利用させていただいている。

##### <事務局>

本日お集まりいただいた皆様の職場におかれては、健診、特定保健指導の実施について日頃よりご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。なお、保健指導の当日実施については、後日時間を確保する事が難しいとの声や、健診当日の方が健康に対する意識が高いという事もあり実施しているところである。

また、特定保健指導の外部委託については委託機関数が少なく、受け入れについて働きかけを行っているところ。岩手の健診実施機関は公立病院が多く、治療優先等の理由で断られるため厳しい状況ではあるが、今後も継続して働きかけを行っていく。

インセンティブ制度による保険料率への影響もあるため上位を目指しているが、現状では厳しい状況。ただし、伸びしろは大きいため、そこをいかに伸ばしていくかを検討し、引き続き努力していきたい。